



2016年2月の世界学生スキーオリエンテーリング大会参加は今後のオリエンテーリング界飛躍のための第一歩

国際マルチススポーツイベント

世界的な広がりをもつスポーツの証のひとつが、オリンピック競技として実施されることだ。オリエンテーリングもオリンピック入りを目指しているが、まだ道なかばである。

このような各種スポーツが一堂に会した国際競技会が「国際マルチススポーツイベント」だ。この種目に採用されることが、そのスポーツの元気のバロメータにもなるし、多くの人にそのスポーツを知ってもらえる機会となる。

JOC が派遣するイベント

オリンピックはIOC(国際オリンピック委員会)が主催する行事。IOC主催のマルチススポーツイベントは他にもあり、ユースオリンピックもその一つだ。

IOCやAOC(アジアオリンピック委員会)主催大会の日本代表団はJOC(日本オリンピック委員会)から派遣される。派遣の有無や選手選考はJOCが決定する。派遣費用もJOCが負担する。

基本的にJOCが派遣するのはマルチススポーツイベントの日本選手団だけなのだ。

対応が分かれる FISU イベント

FISU(国際学生スポーツ連盟)が主催するイベントに対してJOCの対応は一つではない。というものの、FISU主催の国際大会は、国際マルチススポーツイベントと国際競技別イベントを1年交代で実施しているからである。

ユニバーシアード

ユニバーシアードは2年に1回、西暦の奇数年に開催される国際マルチススポーツイベントである。夏季と大会と冬季大会が開催されている。

日本選手団の派遣はJOCが行っている。

残念ながらオリエンテーリングはまだユニバーシアードで開催されたことはない。

世界学生大会

FISU主催で、競技別の世界学生大会はユニバーシアードが開催されない年に行われている。(2年に1回)

フットオリエンテーリングも開催されている。国際マルチススポーツイベントではなく、オリエンテーリング競技の単独開催である。

こうした競技別に行われる世界学生

選手権へ JOC は選手派遣を行わない。JOC はエントリーの窓口となるだけであり、実際の派遣は各種国内競技団体が行う。

ここでちょっと余談

余談ではあるが、ここ数年の間に、日本学生オリエンテリング連盟が JOA (日本オリエンテリング協会) に加盟したこと、JOA が JOC の承認団体となったことによって、この部分の情報の流れが良くなった。

日本学連 → JOA → JOC → FISU

今まではそれぞれの組織が公式な関係を持っていなかった。それぞれの組織の担当者がボランティアにエントリー業務をおこなってくれていた。そのおかげで、学生たちはオリエンテリング世界学生大会に参加できていただけであった。

学生や愛好家の間で世界学生大会を「ユニバ」と呼ばれているが、正確にはユニバーシアード (国際マルチスポーツイベント) と世界学生オリエンテリング大会 (競技別国際大会) は全く別のイベントである。

JOC から派遣されなかった例

2011年2月。冬季アジア大会 (主催: アジアオリンピック委員会) で、スキーオリエンテリングが正式種目として実施された。だが日本選手団として JOC からスキーオリエンテリング選手は派遣されなかった。

この時は JOA が JOC に加盟していなかった影響は大きい。出ればメダルは確実だっただけに、残念な思いだった。

再び巡ってくるチャンス

2019年冬季ユニバーシアード (開催国ロシア) では、スキーオリエンテリングが正式種目として実施される。

ここに選手を送ることができれば、JOC が派遣する初めてのオリエンテリング選手ということになる。オリエンテリングが日本のメジャースポーツに向かって一歩階段を登ったことになるだろう。

だが、派遣はそう甘くない。日本選手の実力が伴わなければ、派遣されないリスクもかなりあるだろう。

だが、国際マルチスポーツイベントの種目になるということは、それだけ世界的な盛り上がりを見せているということでもある。それが巡り巡って日本国内での盛り上がりにも少しも繋が

ってくれればと思う。

オリエンテリングの中ではフットオリエンテリングのほうがメジャーではあるが、国際マルチスポーツイベントへの参加ではスキーオリエンテリングのほうが前を進んでいる。冬季スポーツ競技は夏季競技とくらべて競技数が少なく、競技者も少ないことが理由である。

2019 に向けた試金石

冬季ユニバーシアード2019に先立って、FISU 主催の世界学生スキーオリエンテリング大会が2016年2月に開催されることになった。

記念すべき第一回の世界学生大会にどれだけの学生を派遣するすことができるのかが2019年に向けた試金石となる。この実績なくして2019年のユニバーシアード派遣はあり得ないだろう。

上があるから面白い

学生になってから競技を始める者が多いオリエンテリング競技において、世界への道が開けているということは、この競技を続けるうえで大きなモチベーションになる。考えただけでちょっとワクワクする。

そして実際の話、この世界学生大会の日本代表選手を選考することをアノウンスし始めてから、フットオリエンテリングに意欲的に取り組んでくれる学生が目に見えて増えてきた。

面白い競技であることが基本にあるが、さらに上を目指すことによって湧きあがる競技への意欲が多く、学生をかりたさせるようだ。

波及効果は各方面に

スキーオリエンテリングのこうした活動を通じて日本のスポーツ関係者といろいろと協力関係がでてくるだろう。こうした関係がスキーに限らず、フットオリエンテリング、MTB オリエンテリング、トレイルオリエンテリングにも活かせるかも知れない。

スキーオリエンテリング競技はこうした分野への切り込み隊なのだ。

(木村佳司)